大会名 Competition	第６８回　秋田県民体育大会バスケットボール競技 兼第７２回　「愛顔（えがお）つなぐえひめ国体」秋田県代表スタッフ・選手選考会
男子決勝	Year　Month　Day　Time 2017　年　7 月　2 日　12 ： 30
場 所 Place	横手市増田体育館

秋田県バスケットボール協会

チームＡ		チームＢ
能代工高Ａ	26 1st 18 16 2nd 17 17 3rd 17 14 4th 17 OT	秋田西高
73 ○		69 ●

主審:Referee
小川　裕之　秋田
副審:Umpire
大山　忠則　秋田
佐々木　一也　秋田
ﾃｰﾌﾞﾙ･ｵﾌｨｼｬﾙｽﾞ:Table officals
横手市協会

No.	Pl-in	選手氏名 Name of Players	PTS	３Ｐ	２Ｐ	FT	F
4	×	児玉　凛斗 CAP	18	6	0	0	0
5	×	児玉　海渡	15	0	6	3	5
6	×	新田　由直	14	1	5	1	1
7		石田　淳	－	－	－	－	0
8	／	守屋　壮次郎	0	0	0	0	0
9	×	齋藤　創	11	1	4	0	1
10	×	牧野　湧	14	0	6	2	1
11	／	佐藤　侃	1	0	0	1	0
12		高橋　日向	－	－	－	－	0
13		伊藤　翼	－	－	－	－	0
14	／	秋元　淳之介	0	0	0	0	0
15		栗屋　颯太	－	－	－	－	0
16		阿久津　穣	－	－	－	－	0
17		遠田　貴大	－	－	－	－	0
18	／	須藤　陸	0	0	0	0	0
19		角田　翔	－	－	－	－	0
20		上村　悠真	－	－	－	－	0
21		矢口　京杜	－	－	－	－	0
ｺｰﾁ		栄田　直宏					
Aｺｰﾁ		杉沢　政					
		合　計	73	8	21	7	8

No.	Pl-in	選手氏名 Name of Players	PTS	３Ｐ	２Ｐ	FT	F
4	／	若山　純平 CAP	0	0	0	0	0
5	×	佐藤　友飛	8	0	4	0	3
6	×	保坂　知星	17	5	1	0	0
7	×	工藤　悠太	3	1	0	0	0
8		八柳　唯人	－	－	－	－	0
9	／	近藤　要	8	0	4	0	3
10	×	石川　仁	3	0	0	3	2
11	／	斎藤　直哉	0	0	0	0	0
12	／	澤田石　将哲	26	6	4	0	0
13	／	池田　孝大	2	0	1	0	2
14		小玉　大地	－	－	－	－	0
15	×	原田　聖輝	2	0	1	0	1
16		伊藤　光希	－	－	－	－	0
17		小嶋　和樹	－	－	－	－	0
18		佐藤　心星	－	－	－	－	0
19		桜井　夏哉	－	－	－	－	0
20		和田　進之介	－	－	－	－	0
21		石川　楓真	－	－	－	－	0
ｺｰﾁ		小松　和幸					
		合　計	69	12	15	3	11

※×:ｽﾀｰﾀｰ　／:交代選手　PTS:ﾎﾟｲﾝﾄ　3P:3Pﾎﾟｲﾝﾄｼｭｰﾄ　2P:2Pﾎﾟｲﾝﾄｼｭｰﾄ　FT:ﾌﾘｰｽﾛｰ　F:ﾌｧｳﾙ

第１ピリオド：両チーム共にマンツーマンディフェンスでスタート。秋田西高は、＃６保坂の３ＰＴＳでスタート。対する能代工高は、＃５児玉、＃６新田のミドルシュートで得点を重ね、＃９齋藤の連続得点などでペースを掴む。対する秋田西高は流れを引き寄せる為、＃１０石川のゴール下からのシュートで応戦するもターンオーバーが目立ち得点を伸ばすことが出来ない。能代工高は着実に得点を重ね、２６対１８、能代工高リードで終了。

第２ピリオド：秋田西高は、＃１２澤田石の連続３ＰＴＳ、＃５佐藤のゴール下のシュートなどで追い上げる。対する能代工高はミスによるターンオーバーが目立ち引き離しにかかれない。秋田西高は、＃１２澤田石の３ＰＴＳを軸に攻撃を組み立てるも、能代工高は、＃５児玉のミドルシュート、＃４児玉の３ＰＴＳで得点を重ね試合の主導権を渡さない。このピリオドは一進一退の攻防が続き、４２対３５、能代工高リードで前半終了。

第３ピリオド：両チーム共に厳しいディフェンスでスタートするが、能代工高は、＃９齋藤、＃１０牧野の得点で引き離しにかかる。対する秋田西高は、＃６保坂の３ＰＴＳなどで応戦するもなかなか点差を詰めることが出来ない。その後両チームともにシュートを決めきれず我慢の時間帯が続く。５９対５２、能代工高リードでこのピリオドを終了する。

第４ピリオド：能代工高＃５児玉のミドルシュートでスタート。能代工高７点差リードで時間が経過するが、秋田西高＃１２澤田石の３ＰＴＳで４点差まで追い上げる。能代工高も＃４児玉が３ＰＴＳを入れ返し、試合の主導権を渡さない。残り３分に秋田西高＃１２澤田石の３ＰＴＳで２点差まで追い上げたところで能代工高はタイムアウトを請求するも、残り２分で秋田西高＃１２澤田石がドライブからのシュートでついに同点する、しかし最後は能代工高＃４児玉、＃９齋藤が落ち着いて３ＰＴＳを入れ、７３対６９で能代工高が２年ぶり５７回目の優勝を飾った。

文責　【　福島　力　】